

普及所から⑧4

施設野菜の栽培管理

小なす、ししとう、ピーマン

③小なす

①整枝・摘葉

第一分枝以下の摘葉は十二月中旬の晴天時に行い、懐の込み合った部分は適宜摘葉。

主枝の摘心はあぜ上一・二層を目安とします。また、従長ぎみの場合はつり糸を調整して、樹勢を落ち着かせます。

側枝は一〜二花を残して切り戻し、以後これを繰り返します。極端な整枝・摘葉をすると果実が変形したり肥大が遅れたりするので注意してください。

②温度

夜間の地温を上げるための日中の蒸し込みや高夜温は、小なすの同化作用（光合成作用）を

呼吸作用に変えるため、樹勢が弱くなるとともに株全体が老化します。高品質な果実を収穫するための温度は日中は二七〜二八度とし、午後からは一〜二度低め、また、夜間は一六〜一七度を目安に管理します。

③かん水・追肥

かん水は四〜五日を目安に、地温を下げないように晴天の午前中に行います。追肥は七〜十日ごとに樹勢に応じて、チッソ成分で一〇％当たり一〜二キを目安に施用。

④病害虫防除

十二月中旬以降は懐枝を出さないようにし、側枝を出すように整枝。また、寒い時期の極端な整枝は行わないようにします。

薬剤による灰色かび病防除体系のモデル

促成ナス・促成キュウリの例		スミレックス							
月	10	11	12	1	2	3	4	5	
適用薬剤	ホリオキシシ またはユーハレン またはダコニール1,000・キアフタン・ジマ ンダイセン				ベンレート または トップジンM (3部連用)	スレックス または ロフラル または ロコラン (3部連用)	ホリオキシシ またはユーハレン またはダコニール1,000・キ アフタン・ジマインセン		

耕種的防除に努め、予防を重点に行います。また、この時期に特に注意を要するのは灰色かび病であり、防除体系モデルにより薬剤防除を行うことがたいせつです。

①整枝・摘葉

主枝以外の懐枝は収穫後適宜除去し、採光を良くします。第一分枝以下の葉は十二月中旬ごろ、晴天時に二〜三回に分けて除去。

②温度

夜間の地温を上げるために、日中の蒸し込みはしません。日中の温度が三五度を越えると花粉の発芽が悪くなり、落果や石果が多くなります。また、極端な蒸し込みは樹勢を弱くし、株全体を老化させ、春先からのバイラス発生原因の一つとなっています。

日中の温度は午前中に二七〜二八度、午後は二四〜二五度に管理し、夜間の温度は、ししとうでは二一〜二三度、ピーマンでは一八〜二〇度を目安に管理

③かん水・追肥

かん水は寒さに向かうため、四〜五日を目安に控えめにし、かん水過多による根腐れを起さないように注意してください。追肥は七〜十日を目安にチッソ成分で一〇％当たり〇・五キを施用。

④病害虫防除

斑点病、えき病、うどんこ病、灰色かび病、菌核病、白絹病、

スリップス類、ダニ類、アブラムシ類、チャノホコリダニ等があげられますが、早期発見、早期防除に努めることがたいせつです。

以上、三品目についての栽培管理を述べてきましたが、他の施設野菜についても、良い品質でより多く生産をするためには、それぞれの作物の生理生態に合った栽培環境を作っていくことがたいせつです。

2年度 住宅新築資金などの貸し付け

受付は一月十六日〜二月二十八日

同和対策の一環として行われている「住宅新築資金等」の平成二年分借り入れ申し込みの受付を、次のとおり行います。

今月の納税

固定資産税(3期分)、国保税(4期分)

納期限は12月25日です
市税は納期限内に納付しましょう

※口座振替をご利用の方は引き落とし不能にならないように納期限前に口座の残金をお確かめください

- 貸し付けられるのは 住宅新築資金、住宅改修資金、宅地取得資金
- 申し込み期間 平成二年一月十六日(火)〜二月二十八日(水)
- 貸付説明会の日程
 - 南部福祉館：一月二十一日(日) 午前十時〜十一時
 - 中央福祉館：一月二十一日(日) 午後一時三十分〜三時
- ※申込書の請求など詳しいことは中央福祉館(☎3220)または南部福祉館(☎8285)までお問い合わせください。